

追加資料

発 表 日：平成31年2月8日（金）  
都道府県番号：23  
都道府県名：愛知県  
研究課題番号・校種名：1 高等学校  
教 科 名：商業  
学 校 名：愛知県立豊橋商業高等学校

平成30年度 国立教育政策研究所 教育課程研究指定校事業 研究協議会

**「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた  
第4次産業革命の経済社会を担う創造的な地域職業人を  
育成するための学習・指導方法及び評価方法に関する研究**

研究課題

学習指導要領の趣旨を実現するための学習・指導方法及び評価方法の工夫改善に関する実践研究

愛知県立豊橋商業高等学校

# 目 次

○各学科グランドデザイン	
総合ビジネス科	1
経理科	2
情報処理科	3
国際ビジネス科	4
○各学科の授業で活用する共通のルーブリック評価表	
総合ビジネス科	5
経理科	6
情報処理科	7
国際ビジネス科	8
○科目「課題研究」3年生各学科講座一覧	9
○学習指導案Ⅰ 商業科「課題研究（英会話研究講座）」	10
○学習指導案Ⅱ 商業科「課題研究（インターンシップ講座）」	19
○学習指導案Ⅲ 商業科「課題研究（起業家育成講座）」	24
○先進大学視察報告Ⅰ	29
○先進大学視察報告Ⅱ	30
○アクティブ・ラーニング型授業実践研究会報告	31
○科目「課題研究」の各講座において自ら設定した課題の解決を目的とした振り返りによる研究分析	32

## ○学科グランドデザイン〈総合ビジネス科〉

### 目指すべき人材像

#### 「第4次産業革命の経済社会を担う創造的な地域職業人」

→ AI、IoTと共存しながら地域社会のために自ら課題を発見し、課題解決のために主体的かつ協働的に取り組むことができる人材

### 【総合ビジネス科の目標】

## 様々なビジネスシーンに対応できるビジネスリーダーの育成

#### 【目指す生徒像】

- 豊かな人間性を身に付け、職場で愛される人材
- ビジネスシーンで他者と協働して課題を発見し、解決できる人材
- 地域のビジネスと将来の展望が語れる人材

#### 【何ができるようになるか】※総合ビジネス科の学習を通して育成すべき資質・能力

- ①理論とともにビジネスに関する実践力を身に付けることができる。
- ②基本的なビジネススキルを習得することができる。  
(コミュニケーションスキル、問題発見・解決スキル及びプレゼンテーションスキル)
- ③自ら課題を見だし、チャレンジ精神を培うことができる。
- ④「ビジネス」で必要なことや大切なことが語ることができる。



### 【科目「課題研究」におけるアプローチ】

#### 【講座】

○ショップ豊商 ○インターンシップ ○高大連携

- ☆担当講座において育成すべき資質・能力の設定
- ☆担当講座の年間学習指導計画の作成
  - どのように学ぶか（授業の実施）
- ☆求める資質・能力と一貫性のある観点別評価規準及び評価方法の研究
  - 何が身に付いたか（学習評価）
    - ・評価方法の研究
      - 観察法、自己評価、相互評価、パフォーマンス評価（ルーブリック）
      - ポートフォリオ評価、観点別評価
    - ・評価規準の精選
      - 評価項目の明確化
    - ・自己評価や相互評価等のワークシート作成と実施
- ☆生徒の変容把握のための事前アンケートの実施
  - 現状の生徒の状態を事前アンケートでつかむ
- ☆生徒が自主的に課題設定に取り組むためのケーススタディやディベート等の研究と教材の作成
  - ・生徒が何を身に付けたいのか
    - ケーススタディ ← ケース設定
    - ディベート ← テーマ設定

#### 【生徒の実態】

- 部活動へ積極的に参加している。
- 受動的な姿勢で授業に取り組んでいる。
- 体験的な取組が少ないため、人前に立って意見を述べることに自信がない。

## ○学科グランドデザイン〈経理科〉

### 目指すべき人材像

#### 「第4次産業革命の経済社会を担う創造的な地域職業人」

→ AI、IoTと共存しながら地域社会のために自ら課題を発見し、課題解決のために主体的かつ協働的に取り組むことができる人材

### 【経理科の目標】

簿記会計の役割を理解し、その能力を活用できる人材の育成

#### 【目指す生徒像】

- 会計分野の知識について自信をもつことができる人材
- 簿記会計の役割を理解し、職業人としての倫理観をもつ人材
- 自ら課題を発見し、解決のために主体的かつ協働的に取り組むことができる人材

#### 【何ができるようになるか】※経理科の学習を通して育成すべき資質・能力

- ①実務に即した会計分野の知識と技術を習得し、社会的役割を理解することができる。
- ②職業人としての倫理観を培うことができる。
- ③自ら課題を見だし、知識をもとに課題に対して創造的に解決する能力を身に付けることができる。
- ④ビジネスの諸活動で主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。



### 【科目「課題研究」におけるアプローチ】

#### 【講座】

- ショップ豊商
- インターンシップ
- 高大連携
- 豊商スクールプロモーション
- 商品企画
- 日商1級チャレンジ
- 小中高連携

☆担当講座において育成すべき資質・能力の設定

☆担当講座の年間学習指導計画の作成

どのように学ぶか（授業の実施）

☆求める資質・能力と一貫性のある観点別評価規準及び評価方法の研究

何が身に付いたか（学習評価）

・評価方法の研究

観察法、自己評価、相互評価、パフォーマンス評価（ルーブリック）

ポートフォリオ評価、観点別評価

・評価規準の精選

評価項目の明確化

・自己評価や相互評価等のワークシート作成と実施

☆生徒の変容把握のための事前アンケートの実施

現状の生徒の状態を事前アンケートでつかむ

☆生徒が自主的に課題設定に取り組むためのケーススタディやディベート等の研究と教材の作成

・生徒が何を身に付けたいのか

ケーススタディ ← ケース設定

ディベート ← テーマ設定

#### 【生徒の実態】

- 検定に合格しても会計分野に自信がない。（学んだ知識が実務でどのように役立つかわからない）
- 検定の合格を目指すことは就職や進学するための手段になっている。
- コミュニケーション能力を向上させたいと思っているが、何をすればよいか分からない。

## ○学科グランドデザイン〈情報処理科〉

### 目指すべき人材像

#### 「第4次産業革命の経済社会を担う創造的な地域職業人」

→ AI、IoTと共存しながら地域社会のために自ら課題を発見し、課題解決のために主体的かつ協働的に取り組むことができる人材

### 【情報処理科の目標】

## 情報マネジメント能力をビジネスで活用できる人材の育成

#### 【目指す生徒像】

- ビジネス情報分野の知識を生かし、ITを利活用する者のリーダーとなれる人材
- 情報に対する認識力・分析力・評価能力・判断力をもち合わせ、会社の意思決定に携われる人材
- 自ら課題を発見し、解決のために主体的かつ協働的に取り組むことができる人材

#### 【何ができるようになるか】※情報処理科の学習を通して育成すべき資質・能力

- ①ビジネス情報分野に関する知識を習得し、高度IT人材として実務で活用できる。
- ②データから情報を取り出し、それを外部へ伝えることができる。
- ③情報セキュリティを意識し、適切な判断や情報の取り扱いができる。
- ④自ら課題を見だし、創造的に解決する力を身に付けるとともに、ビジネスの諸活動で主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。



### 【科目「課題研究」におけるアプローチ】

#### 【講座】

- |            |            |       |        |
|------------|------------|-------|--------|
| ○ショップ豊商    | ○インターンシップ  | ○高短連携 | ○交通量調査 |
| ○ビジネスライセンス | ○マルチメディア演習 | ○地域連携 |        |

☆担当講座において育成すべき資質・能力の設定

☆担当講座の年間学習指導計画の作成

どのように学ぶか（授業の実施）

☆求める資質・能力と一貫性のある観点別評価規準及び評価方法の研究

何が身に付いたか（学習評価）

・評価方法の研究

観察法、自己評価、相互評価、パフォーマンス評価（ルーブリック）

ポートフォリオ評価、観点別評価

・評価規準の精選

評価項目の明確化

・自己評価や相互評価等のワークシート作成と実施

☆生徒の変容把握のための事前アンケートの実施

現状の生徒の状態を事前アンケートでつかむ

☆生徒が自主的に課題設定に取り組むためのケーススタディやディベート等の研究と教材の作成

・生徒が何を身に付けたいのか

ケーススタディ ← ケース設定

ディベート ← テーマ設定

#### 【生徒の実態】

- 与えられたデータから必要な情報を取り出すことができない。
- 情報セキュリティに対する意識が低い。（SNSの使い方や肖像権、著作権についてなど）
- 検定に対する意欲は高いが、検定で得た知識を実務で活用できない。

## ○学科グランドデザイン〈国際ビジネス科〉

### 目指すべき人材像

#### 「第4次産業革命の経済社会を担う創造的な地域職業人」

→ AI、IoTと共存しながら地域社会のために自ら課題を発見し、課題解決のために主体的かつ協働的に取り組むことができる人材

### 【国際ビジネス科の目標】

## グローバルビジネスで活躍できる人材の育成

#### 【目指す生徒像】

- 地球規模で経済を捉える知識と教養を身に付けた人材
- 外国語を活用し、積極的にコミュニケーションを図ることができる人材
- 異文化を理解し、論理的思考力をもってグローバルビジネスを勝ち抜くことができる人材

#### 【何ができるようになるか】※国際ビジネス科の学習を通して育成すべき資質・能力

- ①英語などの外国語を実務で生かすことができる。
- ②世界のビジネスや経済に対して深い理解を図り、分析・考察・課題解決策の考案ができる。
- ③外国の文化や習慣を理解し、グローバルに協働できる態度を身に付けることができる。
- ④主体的に地域社会や地域産業と関わり、グローバルな視野をもって地域経済の発展に寄与することができる。



### 【科目「課題研究」におけるアプローチ】

#### 【講座】

○長期インターンシップ ○インターンシップ ○起業家育成 ○英会話研究 ○ショップ豊商

☆担当講座において育成すべき資質・能力の設定

☆担当講座の年間学習指導計画の作成

どのように学ぶか（授業の実施）

☆求める資質・能力と一貫性のある観点別評価規準及び評価方法の研究

何が身に付いたか（学習評価）

・評価方法の研究

観察法、自己評価、相互評価、パフォーマンス評価（ルーブリック）

ポートフォリオ評価、観点別評価

・評価規準の精選

評価項目の明確化

・自己評価や相互評価等のワークシート作成と実施

☆生徒の変容把握のための事前アンケートの実施

現状の生徒の状態を事前アンケートでつかむ

☆生徒が自主的に課題設定に取り組むためのケーススタディやディベート等の研究と教材の作成

・生徒が何を身に付けたいのか

ケーススタディ ← ケース設定

ディベート ← テーマ設定

#### 【生徒の実態】

- 英語の知識を活用する技術を身に付けていない。
- 検定の合格を目指すことは就職や進学するための手段になっている。
- 経済やビジネスにおける疑問点や課題を見つけだすことができない。
- 受け身の姿勢が強く、主体的に行動し、自ら発信できない。

## 授業で活用する共通のルーブリック評価表〈総合ビジネス科〉

何ができるようになるか 身に付けさせたい力		達成度				
		レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	
①	理論とともにビジネスに関する実践力を身に付けることができる。	ビジネスに関する知識など、実務に即して理解する力	ビジネスに関する知識を基盤とし、実務での活用の仕方を科学的な根拠に基づいて理解することができる。	ビジネスに関する知識を基盤とし、実務でどう活用するかを理解することができる。	ビジネスに関する知識を理解するが、実務でどう活用するかをあまり理解することができない。	ビジネスに関する知識や必要性について理解しようとしていない。
		ビジネスマナーに関する知識を基盤として、様々なビジネスの場面に対応する力	ビジネスマナーに関する知識をビジネスの場面に即して適切に実践し、技術を身に付けることができる。	ビジネスマナーに関する知識をビジネスの場面に即して適切に実践することができる。	ビジネスマナーに関する知識が乏しいが、実践しようとしている。	ビジネスマナーに関する知識が乏しく、実践することができない。
②	基本的なビジネススキルを習得することができる。	コミュニケーションスキル	相手に興味をもって話を聞き時には相手の話を引き出す質問を投げかけ、話しやすい環境をつくり、着実に信頼関係を築くことができる。	相手に興味をもって話を聞き、相手にとって話しやすい環境をつくることことができる。	相手の話をしっかり聞くことができる。	相手の話をしっかり聞くことができない。
		問題発見・解決スキル	将来起こり得る問題を想定し、原因をしっかりと調査・分析することができる。	既に発生している問題に対し、原因をしっかりと調査・分析することができる。	与えられた問題に対し、原因を調査・分析することができる。	自ら問題を発見することができず、また与えられた問題に対しても調査・分析することができない。
		プレゼンテーションスキル	パソコンソフトを駆使し、相手に説得力をもつ的確に伝えることができる。	スライド資料や配付資料は見やすく、相手に的確に伝えることができる。	スライド資料・配付資料や説明の内容のどちらかがあまり的確ではない。	スライド資料や配付資料が見にくかったり、説明が聞き取りづらかったり、伝えることができない。
③	自ら課題を見だし、チャレンジ精神を培うことができる。	自ら目標を設定し、試行錯誤を繰り返し、自ら試そうとする力	明確で実現可能な目標を設定し、試行錯誤を繰り返して、達成感を味わうことができる。	実現可能な目標を設定し、試行錯誤を繰り返して、挑戦することができる。	他人の助言をもとに目標を設定し、試行錯誤や自ら試そうとしている。	他人の助言をもとに目標を設定するが、試そうとしていない。
		失敗した原因を自ら振り返ることができる力	失敗や反省をそのままにすることなく、次の成功に向け前向きに考えることができる。	自ら失敗や反省の原因を振り返ることができる。	他人の助言をもとに失敗や反省を振り返ることができる。	他人の助言をもらうが、失敗や反省を振り返えようとしていない。
		企画力や創造力を生み出す力	経済や消費者の動向などを踏まえ、ニーズの視点をもって新しい解決策を生み出すことができる。	ニーズの期待と異なるが、新しい解決策を生み出すことができる。	ニーズの視点をもって新しい解決策を生み出そうとしている。	新しい解決策を生み出すことができない。
④	「ビジネス」で必要なことや大切なことが語ることができる。	言葉として伝える力	ビジネスの見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、自らの考えを言葉として広げ深めることができる。	各教科の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、言葉として伝えることができる。	各教科の見方・考え方を働かせ、言葉として伝えようとしている。	自らの考えを言葉として伝えることができない。
		文章として伝える力	ビジネスの見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、自らの考えを文章として広げ深めることができる。	各教科の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、文章としてまとめることができる。	各教科の見方・考え方を働かせ、文章としてまとめようとしている。	自らの考えを文章としてまとめることができない。
		主体的な態度を養う力	職業人に求められる資質・能力を理解し、率先して、主体的な態度で取り組むことができる。	職業人に求められる資質・能力を理解し、主体的な態度で取り組むことができる。	職業人に求められる資質・能力を理解するも、受動的な態度で取り組むことができる。	職業人に求められる資質・能力を理解するも、受動的な態度でも全く取り組むことができない。



## 授業で活用する共通のルーブリック評価表〈経理科〉

何ができるようになるか 身に付けさせたい力		達成度		レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
		レベル4	レベル3	レベル2	レベル1		
①	実務に即した会計分野の知識と技術を習得し、社会的役割を理解することができる。	適切な取引の記録及び財務諸表を作成する力	適切な取引の記録及び財務諸表の作成の方法について、科学的な根拠に基づいて作成することができる。	適切な取引の記録及び財務諸表を作成することができる。	適切な取引の記録または財務諸表の作成することができる。	適切な取引の記録及び財務諸表の作成できない。	
		会計情報に関するデータを読み取る力	会計情報から企業の実態及び経営判断に及ぼす影響を会計的側面から、複数の財務指標を組み合わせ読み取ることができる。	会計情報から企業の実態及び経営判断に及ぼす影響を会計的側面から読み取ることができる。	会計情報から企業の実態を読み取ることができる。	会計情報から企業の実態を読み取ることができない。	
		会計情報に関する資料を集約・計算する力	会計情報に関する資料を多面的・多角的に分析し、会計処理の方法の妥当性を確認し計算することができる。	会計情報に関する資料を多面的・多角的に分析し、計算することができる。	会計情報に関する資料を一つの側面から分析し、計算することができる。	会計情報に関する資料を集約・計算することができない。	
		会計情報に関する資料を説明する力	会計情報に関する資料を当事者として意識をもち、総合的に分析した結果から妥当性と課題などの視点から他者へ説明することができる。	会計情報に関する資料を当事者として意識をもち、総合的に分析した結果から他者へ説明することができる。	会計情報に関する資料を総合的に分析した結果から他者へ説明しようとしている。	会計情報に関する資料を他者へ説明することができない。	
②	職業人としての倫理観を培うことができる。	企業会計における法規と基準について適切に説明する力	企業会計における法規と基準について、その目的や役割も含めて説明することができる。	企業会計における法規と基準について、自ら資料から探し説明することができる。	企業会計における法規と基準について、他者からのアドバイスによって、資料をもとに説明することができる。	企業会計における法規と基準について説明できない。	
		与えられた仕事を進んで最後までやり抜く力	与えられた仕事に対して自らの考えをもとにそれ以上の成果を出すことができる。	与えられた仕事について自ら考え、最後までやり抜くことができる。	他者のアドバイスによって与えられた仕事を最後までやり抜くことができる。	与えられた仕事を最後までやり抜くことができない。	
		与えられた仕事に対して真面目に向き合う力	与えられた仕事に対して、前向きに捉え最後まで集中し真摯に取り組むことができる。	与えられた仕事に対して、最後まで集中し真摯に取り組むことができる。	与えられた仕事に対して真摯に取り組むことができる。	与えられた仕事に対して、真摯に取り組むことができない。	
		社会のルールや人との約束を守る力	与えられた仕事に対して規則に則り余裕をもって完成することができる。	与えられた仕事に対して規則に則り期限を守ることができる。	与えられた仕事に対して期限については守ることができる。	規則や期限を守ることができない。	
③	自ら課題を見だし、知識をもとに課題に対して創造的に解決する能力を身に付けることができる。	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由など、根拠に基づいて述べるができる。	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由など、述べることができる。	与えられたテーマから問題を設定しているが、その問題を取り上げた理由などの内容が十分ではない。	与えられたテーマから問題を設定しているが、その問題を取り上げた理由などを述べることができない。	
		課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力	具体的な計画を立て、自ら行うべき内容を明らかにする。	課題の解決に向けたプロセスに応じて大まかな計画を立てることができる。	課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、計画を立てようとしている。	課題の解決に向けたプロセスを明らかにすることができない。	
		新しい価値を生み出す力	自ら根拠に基づいた課題解決策を提案できる。	自ら指示された範囲の課題解決策を提案できる。	他者のアドバイスがあれば指示された範囲の課題解決策を提案できる。	指示された範囲の課題解決策を提案できない。	
④	ビジネスの諸活動で主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	自分の意見を分かりやすく伝える力	相手の興味を引くように工夫しながら自分の意見を述べるができる。	相手理解できるように配慮し、自分の意見を述べるができる。	相手のことを意識して、自分の意見を述べるができる。	伝えたい内容を相手に伝えることができない。	
		相手の意見を丁寧に聴く力	相手の意見に即した質問をすることができる。	相手の意見を記録し整理することで、理解を深めようすることができる。	相手の意見を理解しようとしている。	相手の意見を理解していない。	
		意見の違いや立場の違いを理解する力	違う意見に対し、比較・検討することで新たな解決策を提案できる。	意見の違いの理由を理解するために、質問するなどして、意見の違いを裏付けることができる。	意見の違いを理解しようとしている。	意見の違いを理解しようとしていない。	
		他者に働きかけ巻き込む力	自らの意見に賛同を得るとともに他者の意見を取り入れつつ物事を進めることができる。	自らの意見に賛同を得て、他者とともに物事を進めることができる。	自らの意見をもとに、他者とともに物事を進めることができる。	他者とともに物事を進めることができない。	



## 授業で活用する共通のルーブリック評価表〈情報処理科〉

達成度 何ができるようになるか 身に付けさせたい力		レベル				
		レベル4	レベル3	レベル2	レベル1	
①	ビジネス情報分野に関する知識を習得し、高度IT人材として実務で活用できる。	ビジネスにおいて情報を適切に取り扱うための力	ビジネスの様々な場面で役に立つ情報の収集・処理・分析・表現ができる。	ビジネスの様々な場面で役に立つ情報の収集・処理・分析ができる。	ビジネスの様々な場面で役に立つ情報の収集・処理ができる。	ビジネスの様々な場面で役に立つ情報の収集・処理ができない。
		ビジネスにおいて情報を扱うことに関する課題を発見する力	情報の収集・処理・分析・表現する過程での課題が発見し、情報の管理と発信が社会に及ぼす影響を考慮することができ、科学的な根拠に基づいて発見した課題を解決することができる。	情報の収集・処理・分析・表現する過程での課題が発見し、情報の管理と発信が社会に及ぼす影響を考慮することができる。	情報の収集・処理・分析・表現する過程での課題が発見できる。	情報の収集・処理・分析・表現する過程での課題が発見できない。
		ビジネスにおいて情報を適切に取り扱うことの主体的かつ協働的に取り組む力	自ら情報を活用することについて、自己の役割を認識し、当事者としての意識をもつことができ、他者と積極的に関わり情報の活用ができる。	自ら情報を活用することについて、自己の役割を認識し、当事者としての意識をもつことができ、他者と関わり情報の活用ができる。	自ら情報を活用することについて、自己の役割を認識し、当事者としての意識をもつことができる。	自ら情報を活用することについて、自己の役割が認識できず当事者としての意識をもつことができない。
		情報分野において他者に働きかけ巻き込みリードする力	自らの意見に賛同を得るとともに、他者の意見を取り入れつつ、情報分野をリードして物事を進めることができる。	自らの意見に賛同を得て、他者とともに物事を進めることができる。	自らの意見をもとに、他者とともに物事を進めることができる。	他者とともに物事を進めることができない。
②	データから情報を取り出し、それを外部へ伝えることができる。	多くのデータや情報から必要なものを取り出し、活用できる力	多くのデータや情報から必要なものを取り出し活用することができるだけでなく、外部に及ぼす影響についても考察ができる。	多くのデータや情報から必要なものを取り出し活用することができる。	多くのデータや情報から必要なものを取り出すことはできるが活用することができない。	多くのデータや情報から必要なものを取り出すことができない。
		外部へ情報発信する力	ビジネスに関する情報機器や通信手段を利用して情報を外部へ発信することができるだけでなく、その影響力を考慮することができ、適切な情報発信の手段を選択することができる。	ビジネスに関する情報機器や通信手段を利用して情報を外部へ発信することができるだけでなくその影響力を考慮することができる。	ビジネスに関する情報機器や通信手段を利用して情報を外部へ発信することができる。	ビジネスに関する情報機器や通信手段を利用して情報を外部へ発信することができない。
		自らデータや情報を収集し活用することができる力	複数の媒体からデータや情報を自ら収集することができ、比較し、情報やデータの取捨選択ができる。	一つの媒体ではなく、複数の媒体からデータや情報を自ら収集することができ、比較ができる。	インターネットや新聞などの媒体のうち一つからデータや情報を自ら収集することができる。	自らデータや情報を収集することができない。
		取り出した情報を使い、自分の意見を分かりやすく伝える力	取り出した情報を使用し、相手の興味を引くように工夫しながら自分の意見を伝えることができる。	取り出した情報を使用し、相手が理解できるように配慮し、自分の意見を伝えることができる。	取り出した情報を使用し、相手のことを意識して、自分の意見を伝えることができる。	取り出した情報を使用し、自分の意見を相手に伝えることができない。
③	情報セキュリティを意識し、適切な判断や情報の取り扱いができる。	情報を取り扱うものとしての責任を理解し、その役割を果たす力	情報に対する個人と企業の責任の必要性を理解し、情報セキュリティ管理に関する計画を立案して実施することができる。	情報に対する個人と企業の責任の必要性を理解し、情報セキュリティ管理に関する計画を立案することができる。	情報に対する個人と企業の責任に必要性を理解している。	情報を取り扱うものとしての責任を理解していない。
		情報セキュリティ管理について自ら学び情報資産の保護に主体的・協働的に取り組む力	情報セキュリティ管理について自ら学び情報資産の保護に主体的・協働的に取り組むことができる。	情報セキュリティ管理について自ら学び情報資産の保護に取り組むことができる。	情報セキュリティ管理について自ら学ぶことができる。	情報セキュリティ管理について自ら学ぼうとしない。
④	自ら課題を見だし、創造的に解決する力を身に付けるとともに、ビジネスの諸活動で主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。	現状を分析し目的や課題を明らかにする力	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由など、根拠に基づいて述べることができる。	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由など、述べることができる。	与えられたテーマから問題を設定しているが、その問題を取り上げた理由などの内容が十分ではない。	与えられたテーマから問題を設定しているが、その問題を取り上げた理由などを述べることができない。
		新しい価値を生み出す力	自ら根拠に基づいた課題解決策を提案できる。	自ら指示された範囲の課題解決策を提案できる。	他者のアドバイスがあれば指示された範囲の課題解決策を提案できる。	指示された範囲の課題解決策を提案できない。
		自分の意見を分かりやすく伝え、相手を説得する力	客観的な資料などを使用して、相手が理解できるように配慮しながら自分の意見を述べることができる。	相手が理解できるように配慮し、自分の意見を述べるができる。	相手のことを意識して、自分の意見を述べるができる。	伝えたい内容を相手に伝えることができない。
		意見の違いや立場の違いを理解する力	違う意見に対し、比較・検討することで新たな解決策を提案できる。	意見の違いの理由を理解するために、質問するなどして、意見の違いを裏付けることができる。	意見の違いを理解しようとしている。	意見の違いを理解しようとしていない。

## 授業で活用する共通のルーブリック評価表〈国際ビジネス科〉

何ができるようになるか 身に付けさせたい力		達成度		レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
		達成度	達成度	達成度	達成度	達成度	達成度
①	英語などの外国語を実務で生かすことができる。	実務に即し平易な外国語で意見を伝える力	外国語を用いて3文以上で考えなどを伝えることができる。	平易な外国語を用いて1文～2文で考えなどを伝えることができる。	外国語を用いて単語単位で考えなどを伝えることができる。	日本語が混ざり、ジェスチャーが中心となっている。	
		実務に即した相手の意見を理解する力	相手の意見に外国語で具体的に答え、さらに会話を膨らますことができる。	相手の意見や質問に外国語で具体的に答えることができる。	相手の意見や質問に外国語で答えることができる。	相手の意見や質問に外国語で答えることができない。または答えになっていない。	
		グローバルビジネスにおける外国語の重要性を理解し主体的に学ぶ力	外国語力の向上に努め、積極的にコミュニケーションを取る力がある。	外国語力の向上に努め、コミュニケーションを取る力がある。	外国語力の向上に努めてはいるが、コミュニケーションをとる力が乏しい。	外国語力の向上に努めていない。	
②	世界のビジネスや経済に対して深い理解を図り、分析・考察・課題解決策の考案ができる。	新聞記事やニュースなどを活用する力	分析・調査した結果から、自らの考えを導き出すことができる。	自らの知識と技術を総合的に活用して、収集した情報を分析・調査し、解説ができる。	経済に関する新聞記事やニュースを収集し、内容をまとめることができる。	経済に関する新聞記事やニュースを収集できない。	
		グローバル化による経済や企業活動に伴う課題を発見、考察する力	グローバル化により経済や企業活動が抱える課題を発見し、その背景や原因から、自らの分析ができる。	グローバル化により経済や企業活動が抱える影響を発見し、その背景や原因を調べることができる。	グローバル化が経済や企業活動に与える影響を発見できる。	グローバル化が経済や企業活動に与える影響を発見できない。	
		グローバルビジネスの中で勝ち抜くための改善策や新たな案を考案する力	グローバルビジネスにおける、改善策や新たな案を、具体的な根拠をもとに考案し、その効果や予測を説明できる。	グローバルビジネスにおける、改善策や新たな案を、具体的な根拠をもとに考案できる。	グローバルビジネスにおける、改善策や新たな案を考案できる。	グローバルビジネスにおける、改善策や新たな案を考案できない。	
③	外国の文化や習慣を理解し、グローバルに協働できる態度を身に付けることができる。	他国の文化や習慣の違いを理解する力	異なる文化や習慣の中で、共存してビジネスを展開する方法を考案できる。	文化や習慣の違いが、ビジネスに与える影響を考察できる。	外国の文化や習慣を調査し、日本との比較ができる。	日本の文化や習慣を説明できない。	
		異文化と協働してビジネスを展開する力	他者の意見を受容し、新たな考えを導き出すことができる。	自らの考えや意見などを論理的に他者へ発信することができる。	自らの考えや意見などを他者へ発信できる。	自らの考えや意見などを他者へ発信できない。	
④	主体的に地域社会や地域産業と関わり、グローバルな視野をもって地域経済を発展に寄与することができる。	職業人としての倫理観をもち、ビジネスに取り組む力	企業における営利活動だけでなく、社会的責任を意識した活動ができる。	与えられた仕事だけでなく、新たな仕事を見つけ、主体的に行動ができる。	与えられた仕事を最後まで責任をもって取り組むことができる。	与えられた仕事を最後まで責任をもって取り組むことができない。	
		地域資源を世界と関わりをもたせ、健全かつ持続的な発展のため主体的に学ぶ力	グローバル化において、地域ビジネスが抱える課題を見つけ、改善策を導き出すことができる。	グローバル化において、地域ビジネスが抱える課題を見つけ出すことができる。	グローバル化において、地域ビジネスを取り巻く環境とその変化を調査分析できる。	グローバル化において、地域ビジネスを取り巻く環境の変化を調査分析できない。	

## 科目「課題研究」3年生各学科講座一覧

### 総合ビジネス科（3講座）

（1）調査、研究、実験	高大連携
（2）作品制作	
（3）産業現場等における実習	インターンシップ、ショップ豊商
（4）職業資格の取得	

### 経理科（7講座）

（1）調査、研究、実験	スクールプロモーション、高大連携
（2）作品制作	商品企画
（3）産業現場等における実習	インターンシップ、小中高連携、ショップ豊商
（4）職業資格の取得	日商1級チャレンジ

### 情報処理科（7講座）

（1）調査、研究、実験	交通量調査
（2）作品制作	マルチメディア演習
（3）産業現場等における実習	インターンシップ、地域連携、ショップ豊商、高短連携
（4）職業資格の取得	ビジネスライセンス

### 国際ビジネス科A（1講座）

（1）調査、研究、実験	
（2）作品制作	
（3）産業現場等における実習	インターンシップ
（4）職業資格の取得	

### 国際ビジネス科B（4講座）

（1）調査、研究、実験	英会話研究、起業家育成
（2）作品制作	
（3）産業現場等における実習	インターンシップ、ショップ豊商
（4）職業資格の取得	

## 学習指導案Ⅰ 商業科「課題研究（英会話研究講座）」

### 1 日時・場所

平成30年11月14日（水）第5限（13：20～14：10） 第二産振棟4階コミュニケーションルーム

### 2 学級

国際ビジネス科 3年7組（男子4人 女子5人 合計9人）

### 3 単元・内容

異文化理解と価値観の共有

### 4 教材・教具

- (1) 質問票
- (2) ワークシート
- (3) パソコン・プロジェクタ
- (4) 分別用の資料・道具

### 5 単元の目標

- (1) 英語を用いて他国の文化や習慣を理解する。
- (2) ゴミ問題を共有、解決策を考える力を身に付ける。

### 6 単元の評価規準（4観点ごとの評価規準）

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の 観点の 趣 旨	商業について関心をもち、課題解決を目指して主体的に取り組もうとするとともに、主体的・実践的な態度を身に付けている。	課題解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	商業に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、諸外国の文化の調査や研究を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	商業に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、諸外国の実態を理解している。
評価規準	他国の文化や習慣について関心をもち、異なる文化や価値観について探究しようとしている。	他国の文化や習慣の違いについて思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、導き出した考えを表現している。	異なる文化や価値観を共有する基礎的・基本的な技術を身に付けるとともに、他国の文化や習慣に関する資料を収集し、情報のもつ意味を読み取り、記録・整理し、まとめている。	異なる文化や価値観を共有する基礎的・基本的な知識を身に付け、他国の文化や習慣について理解している。
評価方法	①質問票 ②観察	③ワークシート	①質問票 ③ワークシート ④発表資料	⑤プレゼンテーション

### 7 単元の指導計画

指導内容	配当時間
異文化理解と価値観の共有	10時間 (本時3時間目)

## 8 本時の目標

- (1) ゴミ問題について、豊橋に住む外国人を通じ文化や習慣の違いについて関心をもたせ、異文化について探求させる。
- (2) ALTの言葉や回答を聞き、他国の異なる文化や習慣をグループで共有させる。

## 9 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価の観点			
					関意態	思判表	技能	知理
導入 (3分)	前時の復習と本時の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の内容の復習と本時の授業の内容を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に作成した質問票（ゴミ問題を解決する案を考えるために作成した）を元に、ALTから外国人の考えを聞くことを伝える。</li> <li>・質問する順番等を決める。</li> </ul>					
展開 (43分)	ゴミ問題に関する質問を英語で行う  異なる文化や価値観の共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTに対し、各グループ（3人一組3班）で用意した質問をする。</li> <li>・質問に対する回答を基にゴミ問題について豊橋に住む外国人の諸問題をALTから学ぶ。</li> <li>・グループによる質問票の整理。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を使って多くの情報を得ることができるようにする。</li> <li>・聞き取れなかった場合は再度質問するように指示する。</li> <li>・他のグループの質問に対する答えも参考にしよう指示する。</li> <li>・グループで共通理解が出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミ問題に関する国の文化や習慣について関心を持ち、異文化について探究しようとしている。</li> <li>・他国の文化や習慣に関する資料を収集し、まとめている。</li> </ul>	①			③
まとめ (4分)	本時の確認と次時の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の整理と次時の内容を説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時は質問票を参考にして、オリジナルゴミ問題の提案書を作成することを告げる。</li> </ul>					

御高評

Today's theme

# garbage separation

(ゴミ 分別)

1. Burnable Garbage




2. Kitchen Waste

3. Bottles&Cans

4. Recyclable Plastics

The chart is a detailed guide for waste separation in Japan. It is divided into four main categories, each with a color-coded header and a grid of items. The items are accompanied by small Japanese text boxes explaining disposal rules. For example, under 'Burnable Garbage', items like paper, cardboard, and fabric are listed. Under 'Kitchen Waste', food scraps, bones, and fish are shown. 'Bottles&Cans' includes plastic and metal containers. 'Recyclable Plastics' covers various plastic bottles, containers, and packaging. The chart also includes a section for 'Recycling' (リサイクル) with items like newspapers, magazines, and books.

<p>5. Pet Bottles</p>	
<p>6. Hazardous Garbage</p>	
<p>7. Crushable Garbage</p>	
<p>8. Cloths</p>	

<p>9. Landfill Garbage</p>	
<p>10. Waste Paper</p>	
<p>11. Bulky Garbage</p>	



# 質 問 票

Name \_\_\_\_\_

Ask Marcus about differences in garbage consciousness between foreign countries and Japan

GROUP \_\_\_\_1

## Question

## Answer

- ① How many types of garbage are there in Canada? / \_\_\_\_\_
- ② What is difficult about sorting in Japan? / \_\_\_\_\_
- ③ Please try to separate garbage that is more clearly outlined by our power point. / \_\_\_\_\_
- ④ How do you dispose of your furniture? / \_\_\_\_\_
- ⑤ Is this garbage guide easy to understand for foreigners? How do you feel it can be better? / \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- ⑥ If you hold an event for separation of garbage and many people gather to talk about culture and habits, will you try to accept Japanese culture? / \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- ⑦ Please try to separate garbage. / \_\_\_\_\_
- ⑧ Are there garbage which you don't know how to throw away? / \_\_\_\_\_
- ⑨ Is it wrong to impose a culture of separation of garbage in Japan? / \_\_\_\_\_
- ⑩ There are 51 types of separating garbage in Tokushima. What do you think? / \_\_\_\_\_

# 質 問 票

Name \_\_\_\_\_

*Ask Marcus about differences in garbage consciousness between foreign countries and Japan*

GROUP 2

## Question

## Answer

- ① Do you know that there are three types of garbage bag fees? / \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- ② If you did not write your name in the garbage bag, some areas could not be collected. Does the feeling of foreigners change? / \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- ③ Do you have this booklet? Have you read all of this? Please tell me your frank opinions. / \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- ④ Why are not many foreigners doing the separation of garbage in Japan? / \_\_\_\_\_
- ⑤ If there was a merit, would you do separate garbage? For example, point etc. / \_\_\_\_\_
- ⑥ Do you know where the resource center is? / \_\_\_\_\_
- ⑦ If you had the right knowledge of garbage separation, would you do it? / \_\_\_\_\_
- ⑧ Toyohashi city has many Brazilians, Filipinos and Chinese people. Are there different ideas of separating garbage from Canadians and Americans?  
/ \_\_\_\_\_
- ⑨ There are areas where you raise garbage bags and expect various effects. Do you feel effective? According to "Sunday Japan," the highest garbage bag in Japan is 500 yen per piece / \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- ⑩ In what way do you separate garbage? / \_\_\_\_\_

# 質 問 票

Name \_\_\_\_\_

*Ask Marcus about differences in garbage consciousness between foreign countries and Japan*

GROUP \_\_\_\_\_ 3

## Question

## Answer

- ① Please try to separate garbage. (Here is correct answer) / \_\_\_\_\_
- ② We heard that garbage separation in developed countries is easier and more reasonable than Japan. Please tell me more. / \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- ③ How do you feel about putting a photograph of sorting on a bag of garbage? / \_\_\_\_\_
- ④ What is the biggest problem with Toyohashi's garbage separation for you? / \_\_\_\_\_
- ⑤ Are your friends talking about Toyohashi's garbage separation? / \_\_\_\_\_
- ⑥ How do you throw away your bulky garbage if you don't need it? / \_\_\_\_\_
- ⑦ What do you do when you don't know how to separate garbage? / \_\_\_\_\_
- ⑧ How do you think that we can sort out developing countries people that do not have the custom of separation garbage? / \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_
- ⑨ Have you seen garbage littering in the town? / \_\_\_\_\_
- ⑩ Developing countries have no custom of separating garbage. I want to think about ways to help them understand. Do not you think so? / \_\_\_\_\_

Name \_\_\_\_\_

WORKSHEET

GROUP \_\_\_\_\_

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

↓ ↓ c o n c l u s i o n ↓ ↓

## 評 価 シ ー ト

評価項目	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
他国の文化や習慣の違いを理解する力	文化や習慣の違いの中で、ゴミ問題の解決を展開する方法を考案できる。	文化や習慣の違いが、ゴミ問題に与える影響を考察できる。	外国の文化や習慣を調査し、日本との比較ができる。	日本の文化や習慣と比較できない。
文化や習慣に関する資料を収集し記録・整理しまとめる力	他者の意見を受容し、新たな考えを導き出すことができる。	自らの考えや意見を論理的に他者へ発信することができる。	自らの考えや意見などを他者へ発信できる。	自らの考えや意見を他者に発信できない。

## 学習指導案Ⅱ 商業科「課題研究（インターンシップ講座）」

### 1 日時・場所

平成30年11月14日（水）第5限（13：20～14：10） 語学実習室

### 2 学級

国際ビジネス科 3年6組（女子10人）

### 3 単元・内容

現場実習5

### 4 教材・教具

- (1) 自作プリント
- (2) 付箋、画用紙、マジック

### 5 単元の目標

- (1) グローバル化における、東三河地域が抱える課題を発見させる。
- (2) 発見した課題について、なぜ改善が必要かその目的と効果を考察させる。

### 6 単元の評価規準（4観点ごとの評価規準）

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の観点の趣旨	商業に関する学習について関心を持ち、その課題を設定して主体的に取り組もうとするとともに、課題の解決を図る実践的な態度を身に付けている。	課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	商業に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、地域産業現場等における実習を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	商業に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、地域の経済や産業の動向を理解している。
評価規準	グローバル化について関心を持ち、東三河のグローバル化に伴う課題を探究しようとしている。	グローバル化における課題について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に判断し、導き出した解決策を表現している。	グローバル化における課題を考察する基礎的・基本的な技術を身に付けるとともに、課題を考察するための資料を収集し、情報のもつ意味を読み取り、記録・整理し、まとめている。	グローバル化における課題について基礎的・基本的な知識を身に付け、東三河の持続的な発展のため、より良い取組を理解している。
評価方法	①ワークシート	②発表	③観察 ④レポート	①ワークシート

### 7 単元の指導計画

指導内容	配当時間
地域経済の活性化	20時間
実習先企業のグローバル化	18時間 (本時9時間目)
グローバル化における課題提示	2時間

### 8 本時の目標

- (1) 実習先企業のグローバル化における課題を把握させる。
- (2) グローバル化における課題について思考を深め導き出した考えを発表させる。

9 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価の観点			
					関 意 態	思 判 表	技 能	知 理
導入 (10分)	東三河のグローバル化の現状把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自が感じる東三河のグローバル化をグループ内で発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループを作る。</li> <li>各自の生活や経験から感じた東三河のグローバル化をグループ内で発表させる。</li> <li>聞く側は質問をさせる。</li> </ul>					
展開 (30分)	東三河のビジネスにおけるグローバル化とその課題の整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループごとに、東三河のビジネスをグローバルに発展させるための考えや意見を付箋に書く。(ブレインストーミング)</li> <li>東三河のグローバル化の現状における課題を見つける。</li> <li>各グループ前へ出て発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他人の意見に批判をせず沢山の意見を出させる。</li> <li>他の意見に質問をさせる。</li> <li>付箋を3つに分類させ課題を画用紙にまとめさせる。</li> <li>東三河の企業の現状と課題を発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東三河の企業におけるグローバル化の課題を把握できる。</li> <li>グローバル化における課題について思考を深め導き出した課題を発表できる。</li> </ul>	①	②		
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の取組態度を振り返る。</li> <li>研究課題をまとめ、今後の実習課題を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域経済がグローバル化に対応する必要性を再認識させる。</li> </ul>					

御高評



# 東三河のグローバル化とビジネス（ワークシート）

## 【事前学習】

1. 一般的に「グローバル化」とはどういうことでしょうか？
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
2. あなたの身の回りから感じる「グローバル化」を挙げましょう。

## 【ふりかえり】

1. 本時のグループワークでは、自らの意見を沢山出すことができましたか？  
  
A 十分出来た            B まあまあ出来た            C あまり出来なかった
  
2. 本時のグループワークでは、友達の意見に沢山質問が出来ましたか？  
  
A 十分出来た            B まあまあ出来た            C あまり出来なかった
  
3. グループワークに積極的に参加できましたか？  
  
A 十分出来た            B まあまあ出来た            C あまり出来なかった
  
4. 東三河における「グローバル化」について気づいたこと、理解したことをまとめましょう。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
5. 東三河のビジネスについて、グローバルの視点でどのような課題がありますか？
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
6. もしも現状のままビジネスを続けたとしたら、どのような問題が起きると思いますか？

3年 6組            番    氏名

---



11月14日(水)「課題研究(インターンシップ講座)」ルーブリック評価表

達成度 何ができるようになるか 身に付けさせたい力		レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
		④ 主体的に地域社会や地域産業と関わり、グローバルな視野で地域経済を発展させることができる。	東三河と世界の関わりをもたせ、健全かつ持続的な発展のため主体的に学ぶ力	グローバル化における、東三河の企業が抱える課題を見つけ、地域ビジネスがグローバル化に対応する必要性を導き出すことができる。	グローバル化における、東三河のビジネスが抱える課題を見つけ出すことができる。

## 学習指導案Ⅲ 商業科「課題研究（起業家育成講座）」

### 1 日時・場所

平成30年11月14日（水）第5限（13：20～14：10） 第2産振棟3階パソコンⅡ教室

### 2 学級

国際ビジネス科 3年7組（男子2人 女子7人 合計9人）

### 3 単元・内容

地域貢献活動

### 4 教材・教具

- (1) パワーポイント資料
- (2) スクリーン
- (3) プロジェクター
- (4) パソコン
- (5) ワークシート

### 5 単元の目標

- (1) 豊橋市の530運動に伴う課題を発見・考察させる。
- (2) 豊橋市の530運動の改善策や新たな案を考察させる。

### 6 単元の評価規準（4観点ごとの評価規準）

観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
評価の 観点の 趣旨	商業に関する学習について関心をもち、その課題を設定して主体的に取り組もうとするとともに、課題の解決を図る実践的な態度を身に付けている。	課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	商業に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、地域産業の調査や研究を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	商業に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、地域の経済や産業の実態を理解している。
評価規準	豊橋市の530運動について関心をもち、豊橋市の530運動に伴う課題を探究しようとしている。	豊橋市の530運動における課題について思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に適切に分析し、導きだした改善策や新たな案を表現している。	豊橋市の530運動における課題を考察する基礎的・基本的な技術を身に付けるとともに、その課題の背景や原因に関する資料を収集し、情報のもつ意味を読み取り、記録・整理し、まとめている。	豊橋市の530運動における課題について基礎的・基本的な知識を身に付け、その課題の背景や原因について理解している。
評価方法	①観察	②ワークシート	②ワークシート ③発表資料	④レポート

### 7 単元の指導計画

指導内容	配当時間
1 豊橋市の530運動とは	1時間
2 豊橋市の530運動の課題の発見と考察	5時間（本時4時間目）
3 豊橋市の530運動の改善策と新たな案の提案	4時間

### 8 本時の目標

- (1) 豊橋市の530運動における課題について、課題の発見と原因を考察させる。

9 本時の展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価の観点			
					関 意 態	思 判 表	技 能	知 理
導入 (3分)	本時の授業の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の授業について確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各自が調べてきた現状分析結果を発表することを伝える。</li> <li>発表する順番、手順を伝える。</li> </ul>					
展 開 (42分)	課題の現状把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>3人1グループで調査した場所の現状を発表する。</li> <li>発表生徒以外は、ワークシートにメモを記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表時間を、質疑応答を含め各グループ10分程度とし、時間が超過しないよう配慮する。</li> </ul>					
	問題点・改善点の整理 (個人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループが調査した現状について、問題点や改善点をワークシートに整理をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループで調査した場所のゴミの量や捨て方に関する問題点や改善点を1つ以上記入するよう伝える。</li> <li>整理する時間は5分程度とし、時間に配慮する。</li> </ul>					
	問題点・改善点の情報交換 (グループ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人のワークシートを基に、各グループのメンバーと情報交換をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の人の参考になった意見をワークシートに記入するよう指示をする。</li> </ul>					
まとめ (5分)	本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループでまとめた問題点・改善点を整理する。</li> <li>次時の内容について説明をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループで出した問題点・改善点を次時に発表することを告げ、グループの意見をまとめさせる。</li> </ul>					

御高評

### 3-7 「課題研究」(起業家育成講座) ワークシート

H30. 11. 14 (水)

3年7組 番 氏名

各グループの発表のメモ (各グループの発表の中で気付いたことを書き留める)

調査場所 グループ	メモ
駐輪場・ 校門付近	
購買前 ゴミ箱	
各教室	

各グループの現状分析を踏まえた問題点・改善点 (個人)

グループ	問題点	改善点
駐輪場・ 校門付近		
購買前 ゴミ箱		
各教室		

同じグループの意見

問題点	改善点

他のグループの意見

問題点	改善点

今後の方向性 「捨てない人の会」の目的は?! 着地点をどうする?

メモ

**最終着地点（目的）:**

着地点（目的）を果たすためのアクションは?

- ・
- ・
- ・

1月までに何を実践する?



評価シート（起業家育成講座）

評価項目	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
豊橋市の530運動に伴う課題を 発見、 考察する力	豊橋市の530運動が抱える課題を発見し、その背景や原因から、自らの分析ができる。	豊橋市の530運動が抱える影響を発見し、その背景や原因を調べることができる。	豊橋市の530運動に与える影響を発見できる。	豊橋市の530運動に与える影響を探せない。
豊橋市の530運動の改善策や 新たな案を考案する力	豊橋市の530運動における、改善策や新たな案を、具体的な根拠をもとに考案し、その効果や予測を説明できる。	豊橋市の530運動における、改善策や新たな案を、具体的な根拠をもとに考案できる。	豊橋市の530運動における、改善策や新たな案を考案できる。	豊橋市の530運動に与える影響を探せない。

## 先進大学視察報告 I

- 視察者 教諭 青山将典
- 出張期間 自 平成30年 11月 6日(火)  
至 平成30年 11月 7日(水)
- 視察場所 金沢工業大学 (石川県野々市市扇が丘7-1)
- 視察目的 プロジェクトデザイン教育を20年以上にわたって体系的に取り入れている金沢工業大学はPBLの先進校として、学習到達度の評価手法を長年研究している。同校で採用している評価方法を参考にするとともに、本校のルーブリックについてのご意見をいただく。
- 面談者 金沢工業大学  
基礎教育部教職課程 准教授 木村竜也先生  
プロジェクト教育センター プロジェクトデザイン教育推進室課長 松尾幸司先生
- 所見 「プロジェクトデザインI」(1年生)の授業を視察。当該授業は「プロジェクトデザインII」「プロジェクトデザイン実践」を経て4年生の「プロジェクトデザインIII」(卒業研究をするための授業)までに自らの研究目的や内容、研究手法を明確化させるためのものである。身近なテーマから「問題の気づき」「課題の明確化」「解決策の創出」「評価・選定」そして「研究の具体化・有効性の検証」を実践し、実社会での問題を解決する力を身につける。
- 授業では、約30人から40人の学生がグループに分かれ学生生活での問題点を話し合い、それが本当に問題なのか調査方法を検討している。授業時間以外に学生を活動させることも目的とし、どの時間帯にどのように調査するかを話し合うことも印象的であった。最終的に調査研究については報告書およびポスターとしてまとめている。これにより学生が考えたアイデアにより実際に大学が動いた例もあるとのこと。
- 視察後、木村先生、松尾先生より本校学科で作成した各科のルーブリックについてご意見をいただいた。「全体として、有機的に統合された計画とルーブリックであると感じる。それは各科目で目指すべき生徒像を基に、各科目で育もうとする資質・能力を示し、それに基づいて作成されている点です。ルーブリックを使用する場合、その表現の中にどうしても曖昧なものを含めざるを得ない場合がある。たとえば「適切に」や「具体的に」などといった表現。そこで、評価者間で、たとえば「適切」とはどのような状態なのかということについて議論し、互いの主観を揃えておく必要があります。また、ルーブリックは使用し、毎年変えていく必要がある。ルーブリックに完成形はないため、毎年ルーブリックの内容を議論する場を設ければ良い。」とのこと。
- 提 案 ①各科目で作成したルーブリックを「課題研究」を中心に使用し、商業科全員が使い易さ、表現等を検証していく。
- ②自らの課題を発見し、その課題の解決方法を探ることは大学生にとってもハードルが高い。本校3年次の「課題研究」にてその目的や内容を充実させるために、2年次の「課題研究」の内容を大幅改訂→2年次「課題研究」全てを身近なテーマから調査、研究、実験を行う展開にする。具体的内容については“ショップ豊商”や“交通量調査”などの行事について検証する。また、高校生技術アイデア賞について2年生で提出する。等 これにより自らの課題の設定や解決方法を探る段階的な訓練を行う。
- ③3年次「課題研究」では自らの課題に適した講座が選出できるシステムを確立する。

## 先進大学視察報告Ⅱ

視察者 畠山由香

出張期間 自 平成30年11月6日(火)

至 平成30年11月7日(水)

視察場所 産業能率大学(東京都世田谷区等々力6丁目39-15)

視察目的 アクティブ・ラーニングを用いて様々な授業を展開している。本校でも課題研究をはじめ多くの授業でアクティブ・ラーニングを取り入れ、対話的、主体的、深い学びを目指す。

面談者 産業能率大学 経営学部 教授 小林昭文 先生

所見 「基礎ゼミ」(1年生)の授業を視察。「沖縄県石垣島のもずくをどう売るか?」をテーマとし、PBLを用いた学習を行っていた。「P」はproblemまたはproductの意味があり、本時はproductを軸とした販売戦略を考察するものであった。授業では6~7人のグループに分かれ、アンケート調査、市場分析をもとに商品開発をおこない、SWOT分析、STP分析、4P、5P、ポジショニングマップなど様々な分析手法を用いて、販売計画を行っていた。また経営分析では経済学部での学びを総合的に活用した発表であった。この授業では提案の根拠となる調査、分析、検討や学んだスキルを十分に活用しているかなどを、相互に評価し、振り返りを行った。最優秀グループは学園祭で発表を行い、他のゼミと競いさらにプレゼンスキルを磨く。2番目のグループはポスターセッションをおこなう予定である。「ロジカルシンキング」(2年生)では考えることを考える授業であった。発想の思考はスキルであり、練習次第で新しいことを発信できるようになる。アイデアを出すために行われるアクティブ・ラーニングである、ブレインストーミングにテーブルラウンドなどを組み合わせることで、より効果的な学びができる。様々な手法を組み合わせることも効果的であることを学んだ。

視察後、小林先生より、アクティブ・ラーニングは目的を達成するための手法で有り、そのものを評価するのでは無いこと、生徒の目標達成度を評価出来るよう評価規準を設定することが大切であると教わった。またアクティブラーニングは繰り返し行うことで効果が生まれるため年に数回ではなく、何度も行うことが大切である。答えの無い科目におけるアクティブ・ラーニングでは、目的は一つでも最終的な結果は様々でよい。アクティブ・ラーニングのプロセスの中から学びに気付かせるよう、教員側の課題の設定、アプローチの仕方、生徒に対する声掛けの内容やタイミングが重要である。

### 提 案

#### 1 評価について

- ・ABCをつける事が目的でなく、C→Aとなるような声かけを行う
- ・点数をひっくり返してはいけない  
例 テストの点数が良いが発言が少ないので成績を下げるなど。

#### 2 振り返り

- ・必ず紙に書かせる。そのことで自分の理解が整理できる
- ・振り返りシートはしっかり取り組んだ生徒が答えることができる質問にする  
具体的に書いている○ 一般論を書いている×
- ・結論に至るまでのプロセスをしっかり振り替える(結論はそれぞれ)

#### 3 アクティブ・ラーニング全般

- ・無駄を省き、生徒に活動させる時間を十分にとることで生徒は頭を使う(教師の力量、工夫)。
- ・目新しい手法をたくさんやるのではなく、得意な方法、適した方法を何度も繰り返す。
- ・ワイワイ、キャーキャーは話し合いでは無い。真剣に話し合いができると、ボソボソとなる。
- ・最後の発表は意味がない。それに対して質問させる、良かったところ、改善点を言わず。

## アクティブ・ラーニング型授業実践研究会報告

参加者 教諭 青山将典、教諭 畠山由香、教諭 鳥居裕之、教諭 佐々木絵美

出張期間 平成30年 11月 25日(日)

出張場所 河合塾コスモ(名古屋市中村区則武1-11-4)

参加目的 「主体的・対話的深い学び」の実現に向け授業改善が行われている。アクティブ・ラーニング型授業を取り入れる際の注意点やより効果的な方法を学び、実際の授業にも取り入れ「主体的・対話的深い学び」の実現を目指す。

講師 産業能率大学 経営学部  
教授 小林 昭文 先生

所見 小林先生が高校教員時代に行っていた物理のアクティブ・ラーニング型授業を例に、ベテラン・中堅教員、若手・初任者の立場の2つの観点から授業改善への取り組み方法を講義いただいた。講義自体がアクティブ・ラーニング型授業と同じように行われ、10分~15分程度の説明、2~5分程度のグループでの話し合い(話の共有と質問作成)、10分程度の質疑応答を1セットとして、それを数回繰り返しながら進められた。

アクティブ・ラーニング型授業を実施する上で、「学びの質の向上」と「点数を上げること」は常に両立させること、「仕事の削減」と「成績向上」はセットにすること、基礎的なことを整えることの重要性を強調された。アクティブ・ラーニング型授業を行う上で陥りやすい欠点の一つとして、時間をとられすぎてしまい教科書の範囲が終わらなくなってしまい、従来の授業方法に戻ってしまうことが多い。プリントの配布時間をなくす、板書やノートの時間を削減する、テンポの早い話し方をする(繰り返しは生徒の集中力を低下させる)「えー」や「あー」などの言葉、思いつきの話もなくすなどしてロスタイムをなくすことで十分に時間は確保できるということであった。あらかじめ設定した時間をオーバーすることは絶対にしないことも重要であるということであった。

授業準備の教材については、教科書を中心に、「データ化」、「パターン化」、「共有化」をし、誰でも、いつでも使える状況にすることが大事であるという話であった。「共有化」するためのコストとして1時間の授業すべてをデータとして作り上げるのではなく、10分から15分程度の説明の時間の部分だけを作成することで使いやすい教材となることであった。

またグループワークを実践する上での注意点として、教員はファシリテータに重点を置くこと。グループワークの最中に講義をしたり、質問に答えないことをあげられた。特にグループワーク中の説明や指示は、「グループで話し合いなさい」、「教員の話聞きなさい」という矛盾した指示が存在することとなり、生徒の集中力が低下すること、どちらかの話を聞くことができないため話を聞かない練習をしているのと同じになってしまうということであった。追加の指示や注意点がある場合には必ずグループワークをやめさせる事が重要であることであった。また一人一人の質問に答えてしまうと、同じ質問が続出し生徒の依存性を高め「主体的な学び」を阻害すること、またチームビルディングが進まず「対話的な学び」も阻害されてしまうため、質問があった場合「どうすればよいですか?」などの声かけをし、生徒自身に気づかせグループや友達との話し合いを促すことが大事であるということであった。他にもグループワークに参加できない生徒がいることに常に配慮すること、(クラス全体の安心感につながる)「一人も見捨てない」と言うことはトップも見捨てないことであること、リフレクションカード(振り返り)を必ず書かせるなどの注意点を講義していただいた。

- 提 案
- ① 教材の共有化をすすめる。 個人が作成した教材をいつでも誰でも使用できる状況にし、授業準備の効率化を図ると共に、アクティブ・ラーニング型授業が取り入れやすい環境をつくる。
  - ② アクティブ・ラーニング型授業を年間通じて継続できるようなシステムやパターンを作成する。アクティブ・ラーニング型授業については継続して行うことが大事である。そのため、誰もができるようなパターンやシステムを作成することが授業改善につながる。

科目「課題研究」の各講座において自ら設定した課題の解決を目的とした振り返りによる研究分析

《アンケート結果（第1回目）》 ※各学科上位5つの回答を抜粋

アンケート内容

(問) 選択した「課題研究」の講座で、身に付けたい資質・能力は何ですか。特に重要と考えるものを2つ選んでください。

- a. 新たな価値を生み出す豊かな創造力
- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力
- c. 課題を発見・探究し、解決する課題解決能力
- d. 自ら考え行動し、適応していく自己変革力
- e. 失敗を恐れず、未知の場に飛び出して、果敢に挑むチャレンジ精神・主体性
- f. 専門分野の知識、技術及び技能の専門性
- g. 他者と繋がり協働できる思いやり・協調性
- h. 目的を設定し確実に行動できるリーダーシップ
- i. 社会のルールや人との約束を守る誠実性
- j. ストレスの発生源に対応するストレス耐性
- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感
- l. 異なる価値観や文化・宗教的背景をもつ人達と互いに理解し合い、共存できる多様性を受容する力
- m. プラス思考で様々な課題に意欲的に取り組むことのできる自己肯定感
- n. 科学的な根拠にもとづいて、他者を納得させうる論理性

【総合ビジネス科】

- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力 28.6%
- d. 自ら考え行動し、適応していく自己変革力 16.9%
- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感 13.0%
- g. 他者と繋がり協働できる思いやり・協調性 11.7%
- e. 失敗を恐れず、未知の場に飛び出して、果敢に挑むチャレンジ精神・主体性 9.1%

【経理科】

- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力 27.8%
- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感 13.9%
- d. 自ら考え行動し、適応していく自己変革力 13.3%
- e. 失敗を恐れず、未知の場に飛び出して、果敢に挑むチャレンジ精神・主体性 10.1%
- g. 他者と繋がり協働できる思いやり・協調性 8.2%

【情報処理科】

- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感 16.6%
- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力 15.9%
- d. 自ら考え行動し、適応していく自己変革力 12.1%
- a. 新たな価値を生み出す豊かな創造力 10.2%
- e. 失敗を恐れず、未知の場に飛び出して、果敢に挑むチャレンジ精神・主体性 9.6%

【国際ビジネス科A】

- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力 28.9%
- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感 19.7%
- d. 自ら考え行動し、適応していく自己変革力 15.8%
- e. 失敗を恐れず、未知の場に飛び出して、果敢に挑むチャレンジ精神・主体性 13.2%
- i. 社会のルールや人との約束を守る誠実性 10.2%

【国際ビジネス科B】

- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力 25.7%
- g. 他者との繋がり協働できる思いやり・協調性 13.5%
- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感 13.5%
- d. 自ら考え行動し、適応していく自己変革力 12.2%
- e. 失敗を恐れず、未知の場に飛び出して、果敢に挑むチャレンジ精神・主体性 9.5%
- l. 異なる価値観や文化・宗教的背景をもつ人達と互いに理解し合い、共存できる多様性を受容する力 9.5%

《アンケート結果（第2回目）》 ※各学科上位5つの回答を抜粋

アンケート内容

(問) 選択した「課題研究」の講座で、身に付いた資質・能力は何ですか。特に重要と考えるものを2つ選んでください。

- a. 新たな価値を生み出す豊かな創造力
- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力
- c. 課題を発見・探究し、解決する課題解決能力
- d. 自ら考え行動し、適応していく自己変革力
- e. 失敗を恐れず、未知の場に飛び出して、果敢に挑むチャレンジ精神・主体性
- f. 専門分野の知識、技術及び技能の専門性
- g. 他者と繋がり協働できる思いやり・協調性
- h. 目的を設定し確実に行動できるリーダーシップ
- i. 社会のルールや人との約束を守る誠実性
- j. ストレスの発生源に対応するストレス耐性
- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感
- l. 異なる価値観や文化・宗教的背景をもつ人達と互いに理解し合い、共存できる多様性を受容する力
- m. プラス思考で様々な課題に意欲的に取り組むことのできる自己肯定感
- n. 科学的な根拠にもとづいて、他者を納得させる論理性

【総合ビジネス科】

- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感 26.4%
- g. 他者と繋がり協働できる思いやり・協調性 23.6%
- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力 13.9%
- e. 失敗を恐れず、未知の場に飛び出して、果敢に挑むチャレンジ精神・主体性 12.5%
- d. 自ら考え行動し、適応していく自己変革力 6.9%

【経理科】

- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力 22.2%
- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感 20.8%
- c. 課題を発見・探求し、解決する課題解決能力 12.5%
- g. 他者と繋がり協働できる思いやり・協調性 11.1%
- d. 自ら考え行動し、適応していく自己変革力 7.6%
- e. 失敗を恐れず、未知の場に飛び出して、果敢に挑むチャレンジ精神・主体性 7.6%

【情報処理科】

- f. 専門分野の知識、技術及び特技の専門性 13.9%
- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感 13.3%
- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力 12.7%
- c. 課題を発見・探求し、解決する課題解決能力 10.8%
- g. 他者と繋がり協働できる思いやり・協調性 9.5%

【国際ビジネス科A】

- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感 24.3%
- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力 23.0%
- d. 自ら考え行動し、適応していく自己変革力 14.9%
- i. 社会のルールや人との約束を守る誠実性 10.8%
- g. 他者との繋がり協働できる思いやり・協調性 8.1%

【国際ビジネス科B】

- b. 自分の意見を分かりやすく伝え、相手の意見を聴き理解できるコミュニケーション能力 19.7%
- k. 与えられた役割をこなすために全力を尽くす責任感 17.1%
- e. 失敗を恐れず、未知の場に飛び出して、果敢に挑むチャレンジ精神・主体性 13.2%
- g. 他者との繋がり協働できる思いやり・協調性 10.5%
- d. 自ら考え行動し、適応していく自己変革力 9.2%